

# 日商簿記 1 級&全経上級フリーテキスト講座 工原 No.5【部門別計算 2】

収録日：平成 25 年 7 月 30 日  
確認日：平成 27 年 5 月 27 日

**【出題実績】**

日商簿記 1 級過去問 116 回・119 回  
全経簿記上級過去問 162 回・168 回

そもそもなぜ部門別計算を行うのか？

部門別がない場合の配賦はこんな感じです

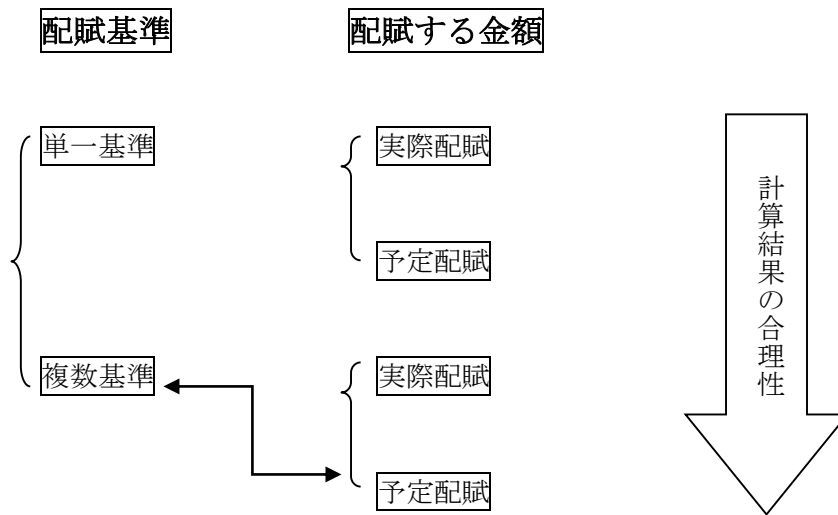
製造間接費		# 101	# 201
100,000	100,000	50h	50h
		<b>50,000</b>	<b>50,000</b>

この会社には切削部門（技術力要求される）と組立部門（簡単な作業）があるとします

- ① まず部門別に製造間接費を集計する
- ② それを各製品にかかった時間で製品別に按分する
- ③ 各製品に配賦する製造間接費を集計する

どちらが合理的？

製造間接費		# 101	# 201
100,000	切削 70,000 ①	40h 56,000	10h 14,000
	組立 30,000 ②	10h 6,000	40h 24,000
	<b>③合計</b>	<b>62,000</b>	<b>38,000</b>



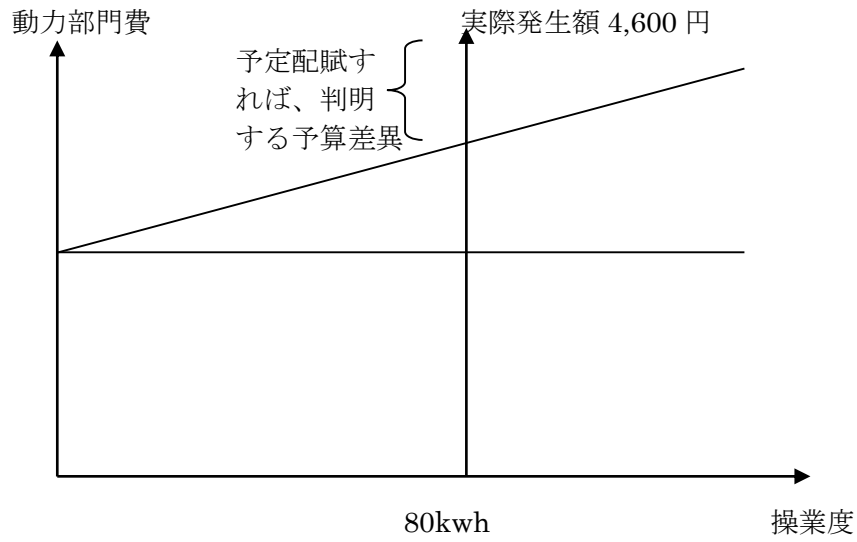
※複数基準で予定配賦がベスト

では順番にみていきましょう

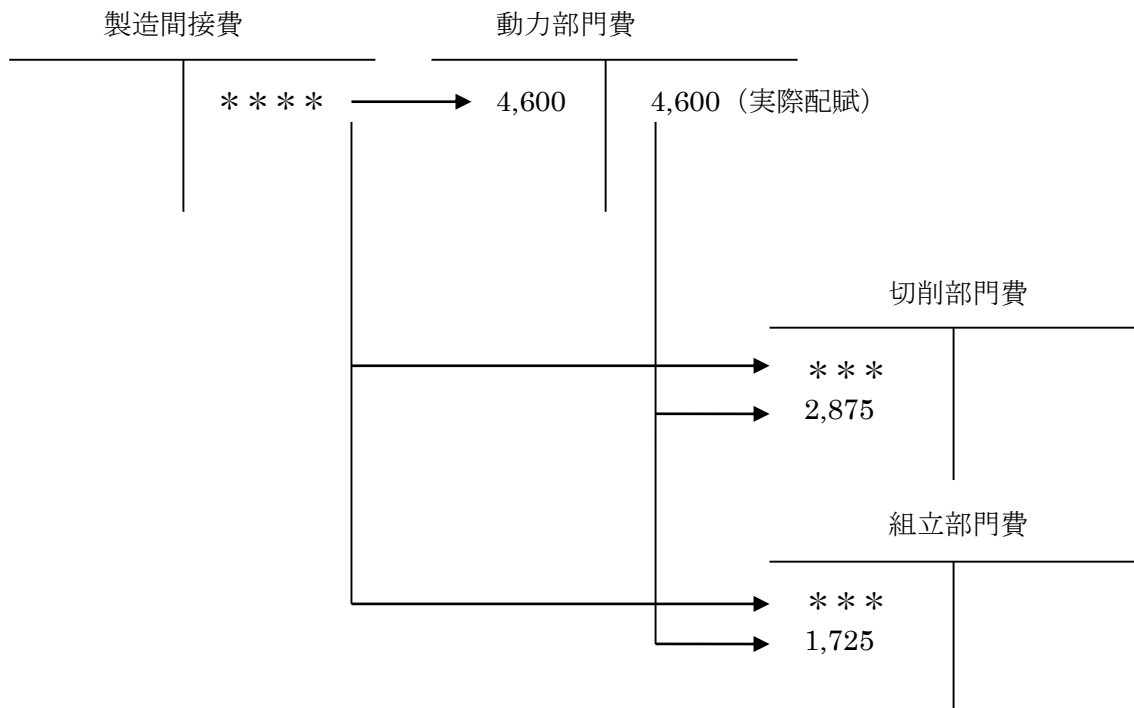
### 単一基準実際配賦

動力部門費 4,600 円を 625Kwh と 375Kwh の実際供給量で配賦した。

シュラッター図



Tフォーム

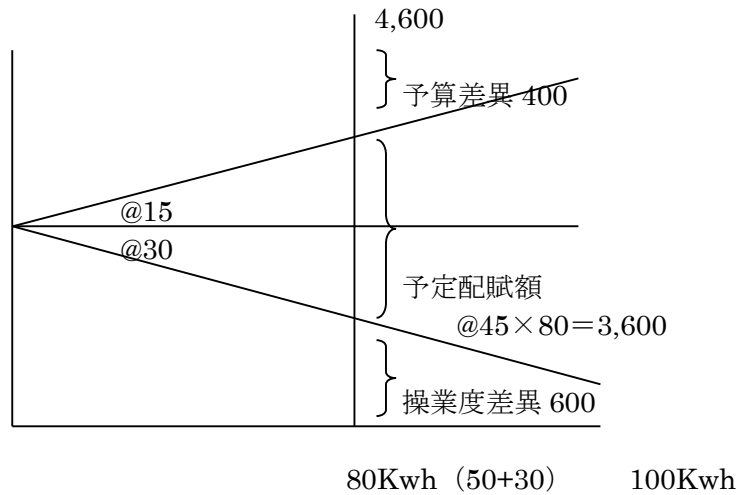


動力部門の浪費が混入する。製造部門が怒る。

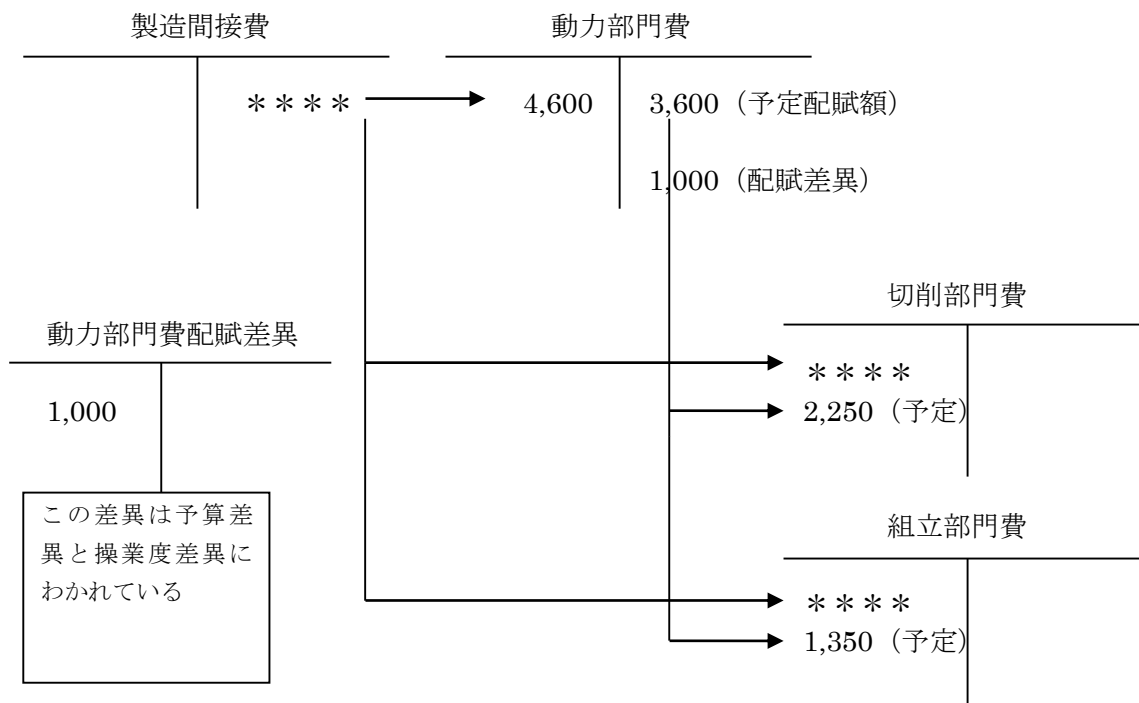
## 単一基準予定配賦

製造部門の文句に対応する為に・・・動力部門費を予定配賦した。  
 配賦率は下記のシュラッター図を参照して下さい  
 実際消費量は切削部門には 50Kwh、組立部門には 30Kwh

シュラッター図



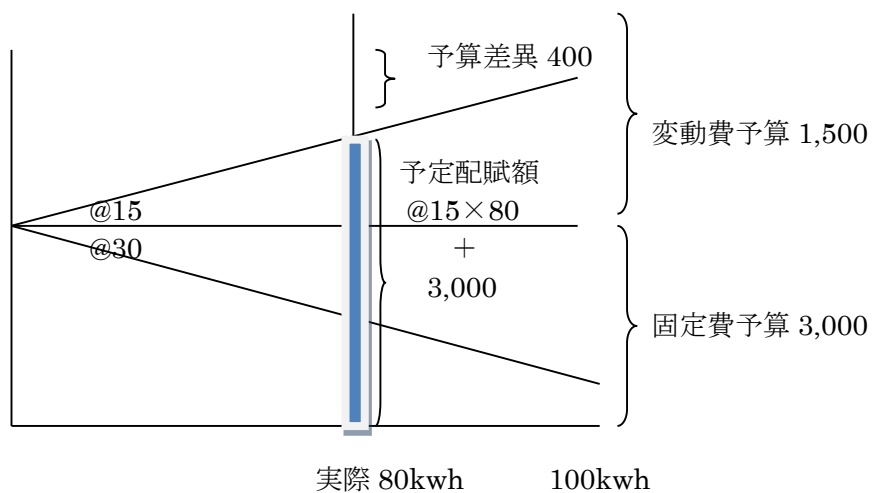
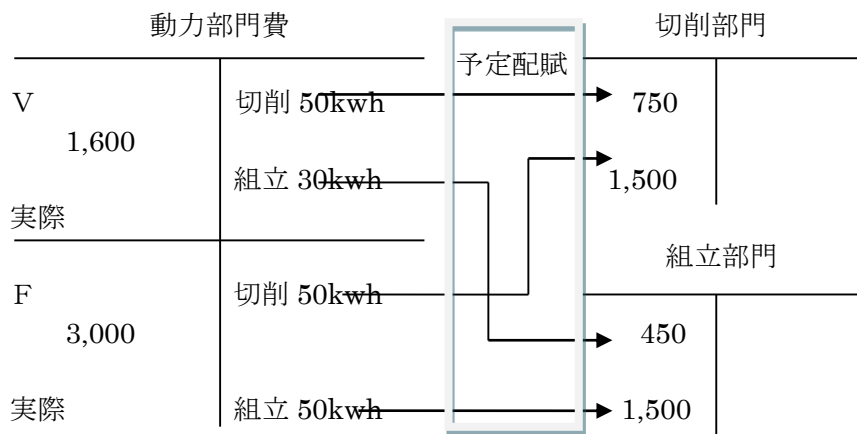
シュラッター図なしで、予算差異と操作度差異を計算してみよう  
 (勘定連絡も考える癖をつけよう)



動力部門長がおこる。何で操作度差異をうちの部門が負担しないといけないのか？

そして理想型の複数基準・予定（予算額）配賦へ

変動費は予定消費量で配賦、固定費はサービス消費能力で配賦  
 配賦率・配賦額は下記のシュラッター図を参照して下さい



前ページの複数基準予定配賦の内容を部門費配賦表にしてみると

切削部門		組立部門		動力部門	
V	F	V	F	V	F
***	***	***	***	1,600	3,000
750	1,500	450	1,500		
合計	合計	合計	合計		

これを配賦基準で割り、配賦率を出すような問題多い

ここは予算を記入

ここは実際に記入

表の中で再認識できる

※最後に部門別 2-1 と話していますが 2-2 はありません。ご了承ください。